



みんなのいえだより

(NO. 102 2020年10月25日発行)

みんなのいえ日和り

10月に入り、肌寒い日が多くなってきましたね。今年に入り外出を自粛していましたが、今回感染対策を行った上で、揖保川町のコスモス畑まで、ドライブに出掛けました。今までは、ずーっと室内に籠りきりだったため、外出前から利用者の皆様も職員もワクワクしていました。

3日間お出掛けをしましたが、絶好の行楽日和で遠くからでも、コスモスの花の濃いピンク色が輝いていました。コスモス畑に到着すると、見たことのないような、大輪で鮮やかなピンク色のコスモスが、一面に広がっていました。その美しさと広大さに、皆さん「わあ〜」と声を上げて感動されていました。自然の美しさに、心を癒された時間でした。



言の葉のつばやき

コロナ禍の中でも、感染対策をきちんと行い、研修や会議等も少しずつ開催されるようになってきました。当法人でも、11月より再開する予定になっております。

先日、ケアマネジャーと医療職で事例検討を行う「ケアマネジメント力向上会議」に参加しました。

- ・ピック病
- ・アルコール性認知症

についての検討会でした。

専門職の方々が集まり意見交換し、多方向からの視点で問題点を分析し、本人・家族の暮らしやすさ・生きやすさを検討されていました。

ここで感じたことは、各専門職からの視野の違いに自分では気づけなかった点やアプローチ方法でした。また、医師・薬剤師からは薬でA1Cを下げ過ぎてしまうと細胞が破壊され、認知症の進行を早めてしまう恐れがある事など。(7%程度でよい) 思わず会場でも「へえ〜」という声が沢山聞こえていました。

一人の利用者に沢山の方の知恵と努力によって支援として成り立っている事を改めて感じ、とても有意義な時間を過ごす事が出来ました。

